

令和6年7月16日
伊集院高等学校

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

1 日時 令和6年7月12日(金) 13:45~15:15(90分)

2 場所 本校会議室

3 日程 委嘱状交付

- (1) 開会のことば(教頭)
- (2) 校長あいさつ(校長)
- (3) 出席者紹介(教頭)
- (4) 学校関係者評価委員会について(教頭)
- (5) 本校の概要説明
 - ア 学校の運営方針(校長)
 - イ 各部から(教務・生徒指導・進路指導・保健部の各主任)
 - ウ 各学年から(各学年主任)
- (6) 質疑応答及び委員からの提言等
- (7) 閉会のことば(教頭)

4 出席者

外部評価委員 5名, 本校評価委員 10名 計 15名

<質疑応答詳細>

(委員 B)

単元テストについてどのような状況か、また、中学校では生徒同士の人間関係で苦勞しているが高校ではどうか。

(委員 A)

単元テストは本校では順位をつけていない。人と比較することでしか評価できない保護者も多く、順位を知りたいという要望が多い。高校がリードしてくれると中学校もやりやすい。

(教務主任)

単元テストは現在のところ問題なく実施できており、生徒がよく取り組んでいるように感じる。ただ、進路の結果への影響も考えなければならないので、状況を見ながら改善していく必要がある。

(進路主任)

課題考査・実力考査の回数を1回増やした。単元テストに移行したことによる模試の結果の大きな落ち込みはない。

(生徒指導主任)

高校にも人間関係の問題がある生徒がいる。スクールカウンセリングの活用、二人担任制による対応などの対策を行っている。

(保健主任)

中学校からの人間関係を引きずっている生徒がいる。コロナの影響も大きく、一つのことを集団で達成する経験が少なかったことも影響しているのか、ここ2、3年人間関係が希薄になっている。100周年があり、関連行事が多いことは生徒たちにとって大きい。

(委員 C)

大学でも当たり前なのが当たり前でできない生徒が多いと感じる。経験不足や失敗に対して誰にも指摘されてきていなかったことが大きい。大人の側が気付いたことは声かけしていくことが、大切ではないかと思う。

生理痛を訴えてくる学生(失神、救急車を呼ぶケースもあり)が増えている。大学では生理に関する講義を男女一緒に聴かせて共通理解させるようにしている。

(保健主任)

生理痛の重たい生徒が確実に増えている。病院を利用しながらうまくコントロールしていく必要がある。

(生徒指導主任)

入室の仕方など、その場で教えないといけない生徒がいる。粘り強い指導が必要と感じる。

(委員 E)

民生委員は小中学校が対象なので、高校生と接することは少なく情報も多くない。何か情報があるときは教えていただきたい。

(委員 B)

中学校でも若い生徒が増えているので、見逃さない指導が必要。単語で会話する生徒もいてコミュニケーション能力が低い。中1で8割の生徒がスマホ所持しているため、スマホに関するトラブルが多い。中学校ではスマホの持ち込みを禁止しているが、高校ではそのようなトラブルはないか。

(生徒指導主任)

本校では持ち込み可となっている。保護者との連絡のために場所を指定しての理容は認めている。昨年、誹謗中傷によるトラブルがあったが、今年はそのようなことはない。

(委員 A)

中学校ではスマホ依存症の生徒も出てきた。感情のコントロールができない生徒も増えてきている。

(委員 E)

学校公開期間(県民週間)は、誰でも授業参観・施設見学等できるのか。

(教務主任)

どなたでもできる。

(委員 C)

スマホで動画を見る生徒が増えているのではないか。試験勉強への影響はどうか。

(進路主任)

3年になってスマホの存在が煩わしくなっている生徒は進路希望がうまくいっている。動画に振り回されている生徒は学力が伸びてこない。